

## 2017年産米の収穫予想(7月31日現在)

### 【作柄(水稻)】◆全国作況102の「やや良」

本社では、各都道府県別の7月末までの気象データを、作況推計プログラムに投入して作況を予想しました(収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。7月に発生した豪雨被害のほか、今後予想される台風や高温等の影響は直接反映していません。8月1日以降の天候経過によって上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではありません)。

2017年産(平成29年産)の水稻作柄は、6月上・中旬の低温で生育が一部抑制されましたが、5月及び7月におおむね天候に恵まれたことから、穂数及び全もみ数は確保される見込みです。梅雨前線の活動が活発だった7月は、上旬に九州北部(島根、福岡、大分県)、下旬に秋田、新潟県などでそれぞれ記録的な大雨により、水田への浸水・冠水が発生しましたが、土砂流入等により耕作不能になったところは限定的で、全体への影響は軽微にとどまる見込みです。

全国の作況指数は102の「やや良」が予想されます。地帯別の作況指数は、北海道、東北、関東、北陸、近畿、四国が102の「やや良」、東海、中国、九州が100の「平年並み」、沖縄が97の「やや不良」が見込まれます。都道府県別にみると、作況指数99~101の「平年並み」は秋田、埼玉、長野など14都県、97~98の「やや不良」は福岡、沖縄の2県、その他31道府県は「やや良」とそれぞれ見込まれます。沖縄の第一期稲は、田植期以降の低温・日照不足等の影響が見込まれます。

### 【作付面積】◆水稻推計137万7千ha(主食用等)

主食用等の生産数量目標は735万トン(作付面積換算139万ha)、需給均衡のための自主的取組参考値は733万トン(同138万ha)が設定されています。飼料用米など生産調整の取り組み状況や、各県等への聞き取りを踏まえ、本社としては主食用等の水稻作付面積を137万7千haと推計(変動する可能性がある)。なお、政府備蓄米、加工用米、新規需要米など生産調整の対象分は収穫予想から除外しています。

### 【水稻収穫量】◆主食用等745万1千トン、計画比10万1千トン増

作況・作付予測に基づく本年産水稻の7月31日現在における主食用等の予想収穫量は、全国平均で10a当たり541kg、収穫量は745万1千トン。前年産実績比4万5千トン減、生産数量目標比10万1千トン増、自主的取組参考値比12万1千トン増の見通しです。

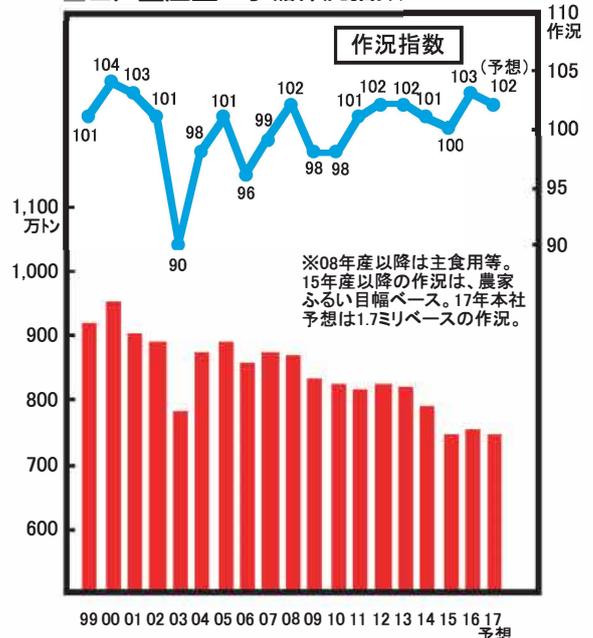
29/30年(平成29年7月から30年6月)における主食用米等の供給量は、29年6月末の在庫198万5千トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えて943万6千トンが見込まれます。農水省が基本指針で策定した需要見通し751万9千トンを差し引くと、30年6月末の在庫は191万7千トンが見込まれます。今期より6万8千トン減となる計算ですが、米価上昇による消費減や、予定枠未達だったSBS輸入米の需要復活で、在庫増は上振れする可能性があるかと予測されます。

【表1】全国の収穫予測(主食用等)

		2017年産	前年差	前年比	
合計	作付面積	ha	1,378,000	▲ 4,000	99.7%
	収穫予想	t	7,453,000	▲ 45,000	99.4%
水稻	作付面積	ha	1,377,000	▲ 4,000	99.7%
	10a収量	kg	541	▲ 3	99.4%
	収穫予想	t	7,451,000	▲ 45,000	99.4%
	作況指数		102	-	-
陸稲	作付面積	ha	750	▲ 194	79.4%
	10a収量	kg	222	4	101.8%
	収穫予想	t	1,700	▲ 360	82.5%

(注)加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。作況指数の前年差・比は、農水省公表の農家等ふるい目幅ベースと基準が異なるため、表記せず。

■ コメ生産量と水稻作況指数

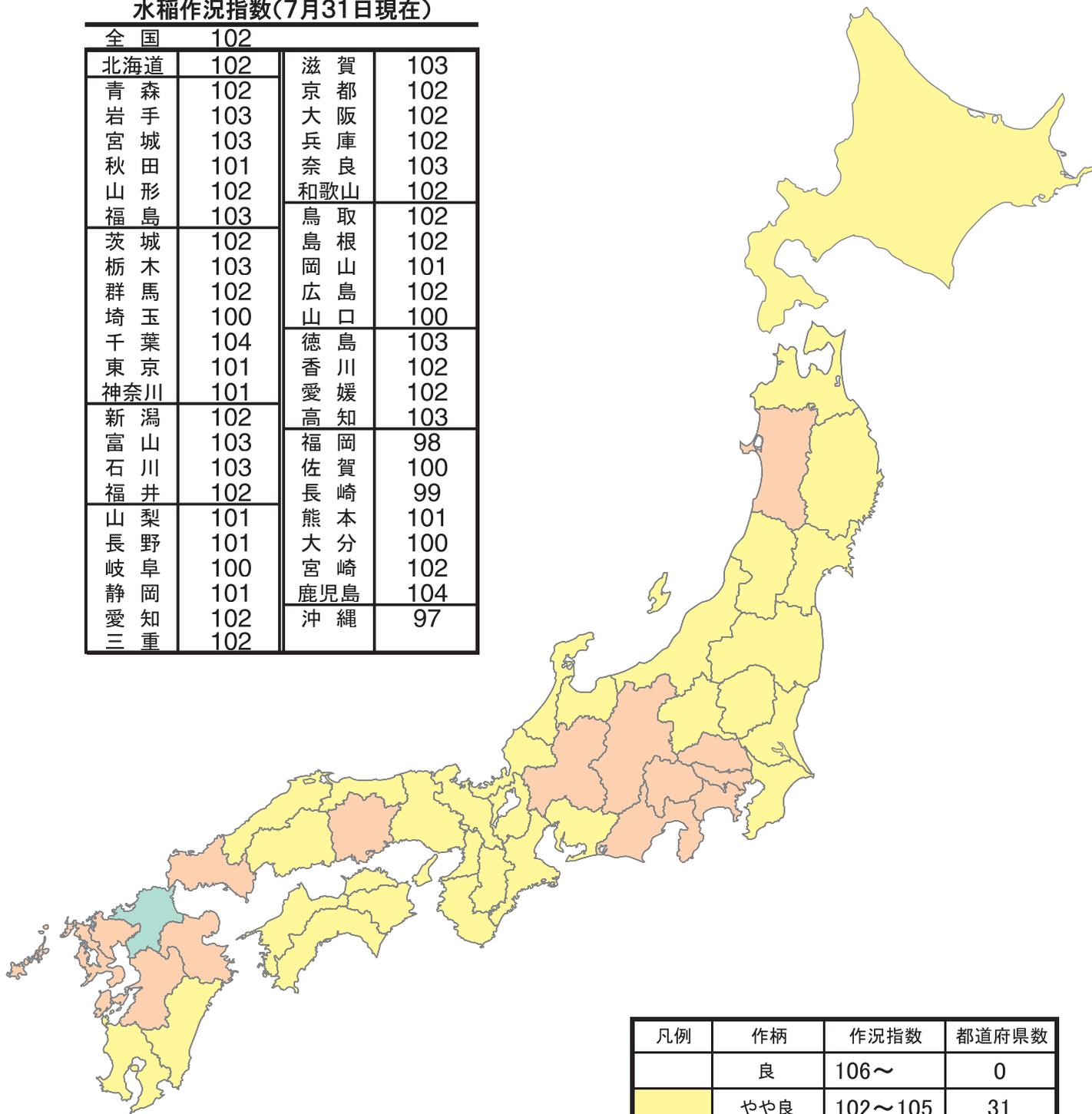


# 2017年産水稲の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稲作況指数(7月31日現在)

全 国	102		
北海道	102	滋 賀	103
青 森	102	京 都	102
岩 手	103	大 阪	102
宮 城	103	兵 庫	102
秋 田	101	奈 良	103
山 形	102	和 歌 山	102
福 島	103	鳥 取	102
茨 城	102	島 根	102
栃 木	103	岡 山	101
群 馬	102	広 島	102
埼 玉	100	山 口	100
千 葉	104	徳 島	103
東 京	101	香 川	102
神 奈 川	101	愛 媛	102
新 潟	102	高 知	103
富 山	103	福 岡	98
石 川	103	佐 賀	100
福 井	102	長 崎	99
山 梨	101	熊 本	101
長 野	101	大 分	100
岐 阜	100	宮 崎	102
静 岡	101	鹿 児 島	104
愛 知	102	沖 縄	97
三 重	102		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
■	やや良	102～105	31
■	平年並み	99～101	14
■	やや不良	95～98	2
■	不良	～94	0



[表2]2017年産水稻(主食用等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a予想収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全国	1,377,000	541	102	7,451,000	▲ 45,000
北海道	98,700	557	102	549,700	4,200
青森	36,800	601	102	221,100	▲ 1,200
岩手	46,900	551	103	258,400	4,100
宮城	63,500	549	103	348,600	▲ 3,700
秋田	69,300	579	101	401,100	▲ 8,500
山形	56,600	607	102	343,500	▲ 1,800
福島	60,000	559	103	335,600	2,000
茨城	67,000	534	102	358,100	8,000
栃木	53,500	556	103	297,600	2,300
群馬	14,100	505	102	71,200	0
埼玉	31,200	490	100	152,900	▲ 1,200
千葉	53,700	560	104	300,500	4,600
東京	150	418	101	630	3
神奈川	3,100	498	101	15,400	0
新潟	100,500	554	102	556,600	▲ 33,100
富山	33,600	556	103	186,900	▲ 4,400
石川	23,200	536	103	124,300	400
福井	23,500	529	102	124,400	▲ 1,900
山梨	4,890	552	101	27,000	0
長野	31,600	625	101	197,600	▲ 200
岐阜	21,600	488	100	105,400	▲ 100
静岡	15,700	526	101	82,600	▲ 400
愛知	26,800	517	102	138,600	▲ 1,500
三重	26,900	510	102	137,200	▲ 3,700
滋賀	30,000	534	103	160,100	▲ 1,200
京都	14,300	521	102	74,500	700
大阪	5,310	505	102	26,800	0
兵庫	35,200	512	102	180,200	2,800
奈良	8,530	528	103	45,100	▲ 500
和歌山	6,700	505	102	33,800	▲ 300
鳥取	12,500	524	102	65,500	200
島根	17,300	519	102	89,800	▲ 1,500
岡山	29,200	531	101	155,100	▲ 500
広島	23,300	533	102	124,300	0
山口	19,800	504	100	99,800	▲ 1,600
徳島	11,500	488	103	56,100	▲ 300
香川	13,200	506	102	66,800	▲ 300
愛媛	14,200	508	102	72,100	0
高知	11,600	472	103	54,700	1,600
福岡	35,300	486	98	171,600	▲ 5,800
佐賀	24,500	519	100	127,200	▲ 1,000
長崎	12,000	475	99	57,000	▲ 2,500
熊本	32,500	518	101	168,400	▲ 2,900
大分	21,000	502	100	105,400	▲ 900
宮崎	15,400	506	102	77,900	700
鹿児島	20,200	501	104	101,300	3,700
沖縄	780	300	97	2,340	70

[注]面積は本社推定。備蓄米、加工用米、新規需要米等は含まず。10a予想収量は、ふるい目幅1.7mm基準。

(参考)

### 米穀データバンクの作況予測の推移

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
5	93	(8/15) 95	74
6	108	(8/15) 105	109
7	100	(8/15) 100	102
8	100	(8/15) 101	105
9	103	(8/15) 102	102
10	97	(8/15) 99	98
11	103	(8/15) 103	101
12	103	(9/1) 103	104
13	102	(9/15) 103	103
14	102	(9/15) 101	101
15	94	(9/15) 92	90
16	103	(9/10) 101	98
17	100	(9/15) 102	101
18	96	(9/15) 97	96
19	99	(9/15) 99	99
20	102	(9/15) 102	102
21	96	(9/15) 98	98
22	102	(9/15) 99	98
23	101	(9/15) 101	101
24	102	(9/15) 102	102
25	100	(9/15) 102	102
26	102	(9/15) 101	101
27	100	(9/15) 100	100 [100]
28	100	(9/15) 103	103 [102]

[注]本社予測は、5年産は早場13道県で8月10日現在。6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況は8/15は文字情報に変更し、9/15現在からの公表になっています。12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、16年産は9/10現在に変更されています。なお、農水省は平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況公表に変更しています。[ ]内は、従来の1.7ミリ基準で計算した場合の作況指数です。本社は1.7ミリ基準で予想しています。